

## 第 28 期第 3 回仙台市図書館協議会会議録

- ◎ 会議の日時・場所 平成 29 年 7 月 27 日（木）14 時～16 時  
仙台市役所本庁舎 2 階第 1 委員会室
- ◎ 出席委員の氏名 石川俊樹委員、石田裕子委員、遠藤仁委員、小林直之委員  
今野広元委員、坂田邦子委員、新迫宏委員、  
横山祐子委員、渡辺祥子委員、渡辺通子委員
- ◎ 事務局職員氏名 市民図書館館長 村上佳子、市民図書館副館長 高橋泰  
宮城野図書館長 柴田聡史、若林図書館 岡崎修子、  
太白図書館長 武山剛久、泉図書館長 福井健司  
広瀬図書館長 佐々木健一、榴岡図書館長 中里省一  
市民図書館企画運営係長 富田直美、  
市民図書館奉仕整理係長 山田千恵美、  
市民図書館企画運営係主任 田上マリ子、主事 柴山玲子

### ◎ 会議の概要

#### 1 開 会

#### 2 挨拶

館長挨拶

#### 3 議長の選出

仙台市図書館条例施行規則第 14 条第 3 項に基づき、遠藤仁会長が議長となった。

#### 4 会議録署名委員指名

会長より、石田裕子委員を指名。

#### 5 協議事項

##### （1）平成 28 年度仙台市図書館事業報告書（案）について

市民図書館副館長より、資料 1 に基づき説明。

##### 〔委員からの主な質問・意見〕

坂田邦子委員

今回の報告書は実施についての報告のみか。例えば、参加人数やあるテーマについての貸出数の変化等実施事業の効果や評価に関する報告は別途行われるのか。

事務局

この事業報告書はあくまで実施状況を公表するものである。まずは今回の協議会で実施状況について報告を行い、ご意見をいただきながら、効果について加味したものを公表していく。施策一つひとつについて「このような効果があった」とはまとめにくいところもあるが、まずは全容をお知らせし、その結果、全体として利用がどうなってきたか、市民サービスの充実や利便性の向上等複合的に考えて評価できればよいと考えている。

議長

報告書には実施したことが数多く書いてあるが、良いことを行っても自己評価では宣伝しづらく、うまく市民に訴えることができない点はややもったいない。

この報告書は平成 28 年度のものということになるが、私が就任した当初は提出が 11 月頃に

なり、前年度の総括としては遅すぎるのではないかという意見もあった。4月の協議会での提出は、人事異動等もあり難しいが、今回、事務局の努力でこの7月に出すことができた。既に、今年度の協議会での議論を踏まえて、出来るところから取り組みを進めている。

6ページの「方向性1についての課題・改善策」の文言や盛り込み方などを重点的にチェックし、足りないところがあったら反映していただきたい。

#### 【方向性1 地域や市民に役立つ図書館】

横山祐子委員

質問になるが、5ページに「若林図書館のイメージキャラクターを公募し、広報物や展示に活用して図書館をアピールした」とあるが、どのようなキャラクターか。

事務局

図書館の利用者から公募したものを図書館内に貼り出し、利用者に良いと思ったものに印を付けてもらった。一番印が多かったものについて、図書館で手を加えてキャラクターとした。

横山祐子委員

名前はあるのか。どのように活用しているのか。

事務局

名前は「ほんわかにゃん」。BOOK（本）の‘ほん’、若林の‘わか’、かつて近隣に猫塚古墳があったため、猫の鳴き声の‘にゃん’。地域情報満載の名前となっている。また、若林図書館が養種園の跡地に建っていることから、仙台白菜を持っている。

横山祐子委員

せっかく公募して作ったものなので、より情報発信されると良い。

事務局

缶バッジにし、イベントで景品にするなどの活用をしているが、さらに広報に努めたい。

新迫宏委員

5ページの「市民と共に進める、仙台に関する情報の発掘や発信」の各館の事例として、プロスポーツ3チーム「東北楽天イーグルス応援コーナー」、「仙台89ers 展示コーナー」、「ベガルタ仙台展示コーナー」の展示は、どのくらい前からやっているか。

事務局

以前から取り組んでいる。

新迫宏委員

それほど大きな規模の展示ではないと思うが、楽天もベガルタも本拠地がどの区にあるからというよりも、仙台市全体のチームだ。今年は成績の良いチームもあり、例えばある年は特定のチームを全市的に取り上げる等展示を工夫すると良いのでは。

事務局

ミニ展示コーナーなどを活用して各館で展示を行うことも考えられるかもしれない。

新迫宏委員

泉図書館では、「試合結果を継続して展示」したとあり、シーズンの結果一覧を掲示するだけでも違うのではないか。せっかく仙台にはプロスポーツが3チームもあるので、盛り上げる工夫があると良い。知恵を絞ってほしい。

事務局

各館で参考にしてきたい。

議長

ご意見として頂戴し、各館で検討の上、工夫の余地があれば取り入れるということをお願いする。

渡辺祥子委員

3 ページの太白図書館と健康福祉局南部発達相談支援センターが連携して関連資料の展示を行ったということだが、このような企画に限らず、例えばある図書館で実施して成果があった企画を別の図書館でも行ってみる等の連携はしているか。各図書館で行った良い企画を他の図書館でも展開していくような形も良いのではないか。広げることと深めることを同時にできるのが図書館であるので、是非お願いしたい。

事務局

複数館あるので、必ずしも別々ではなく、良い取り組みは一斉に実施したり巡回で実施したりすることもあるというご意見と思う。歴史講座などは、一斉にあるいは巡回で実施するなどしているが、今後もバラエティに富む事業を実施すると同時に展開していきたい。

議長

6 ページの「方向性1についての課題・改善策」に、「震災関連資料の活用」とある。震災から年数が経ち、記憶が風化しないようにということだが、実現の方策について委員の皆さんからアイデアをいただきたい。

大学においても震災復興教育をうたってはいるが、学生がやがて教員になって児童生徒を指導する時にどのような効果を発揮できるのか難しい問題だ。図書館が震災復興においてどのような役割を担い、どのような効果的な方法があるのか。例えば街角で見かけた震災関連の展示が大変良かったなどの情報でもかまわないが、何かあるか。

今野広元委員

高砂中学校で震災関連資料の展示を行っている。震災に遭った中学校の看板や、震災当時の時刻で止まった時計、震災で流された後関東で見つかったボールなどが展示されている。高砂中学校では、小学校と連携して防災のアイデアを考える取り組みを行っており、震災後、子どもたちの取り組みや先生方の勉強が継続して行われていることが、一目で分かる展示になっている。震災関連の写真に加えて、このような取り組みを展示すると良い展示になる。中学校では地元住民とも連携しているので、地域の方から発展的な意見をいただけるかもしれない。資料やパネルを借りることも可能ではないか。

議長

企画展等に应用できるかもしれない。

坂田邦子委員

私自身、小中学校や高校、大学などで、主に画像や映像を使って自分たちの経験を伝えるワークショップを行っているが、これまで書籍は使用しなかった。本は画像や映像に比べ、時間をかけて読み解いていくことにより、情景だけではない心の動きなどがより深く情報として入ってくる性質を持つ。震災から時間が経過した今、震災について改めて思い出すためにも、学校現場や社会教育現場などで本を読んで話し合い、思い出し、伝え合うようなワークショップが行われると良い。3月11日前後の開催や、修学旅行で来てくれる子ども達に読み聞かせをする等も考えられる。

小林直之委員

仙台市内の公共施設において本を活用して 3.11 を忘れないものにしていくなら、せんだい 3.11 メモリアル交流館の 1 階が良いと思う。地下鉄東西線荒井駅を降りて、改札を通ると、交流館 1 階でガラス越しに本が迎えてくれる。メモリアル交流館を訪れた方は、並べてある本や写真、資料で、まず何が起きたのか震災に向き合うというスタイルが出来上がっている。仙台市図書館も展示書籍に協力しているとのことだが、良い連携の形だ。

3.11 震災文庫を活用していくのであれば、例えば“今月の震災文庫”として、各年の各月に刊行された震災文庫の本を一目で見られるようなコーナーを設ける方法もある。2~3 冊でも展示して変化をつけていくこともできる。

議長

考えるヒントになるだろう。この方向性 1 に関してはよろしいか。全体を通して最後にご意見をうかがうことにする。

### 【方向性 2 市民一人ひとりに利用しやすい図書館】

議長

方向性 2 についてはいかがか。特に 9 ページの課題・改善策等に関して、ご意見・ご質問等あればお願いしたい。

石田裕子委員

学校現場からの要望になるが、今の小中学生はこれからの高齢化社会を支える側になる。小学校でも総合的な学習で認知症等の学習を取り入れている。7 ページに「高齢者の関心の高い分野をテーマとした資料展示や行事を実施」とシニア向けの資料展示を行ったとあるが、学校現場では小中学生でも理解を深められるような資料を探すのに苦慮しているので、そのような資料を示してもらえれば活動にも役に立つ。

議長

世代を超えて理解しあえるような社会にしていくことが本当の共生といえるのかもしれない。他にはいかがか。

9 ページの「ユニバーサルサービスに向けた取り組み」のところは、やや歯切れが悪い書き方になっている。課題が示されているだけのように思うが、これを例えば、「高齢者、障害者、外国人等のニーズ把握のための調査や研修等に努め、コミュニケーション能力をはじめとした職員のスキルアップを図っていく」と書くと、過ぎた表現になるか。

事務局

図書館の自己評価として“すべてが出来るわけではないが、取り組んでいくことが必要であると認識している”趣旨である。公表の際には、委員の皆様の意見として、そのように付け加えさせていただく。

議長

引き続き、「方向性 3 0 歳から読書に親しめる読書文化を育む図書館」についてご意見を伺いたい。

### 【方向性 3 0 歳から読書に親しめる読書文化を育む図書館】

議長

“本を読む子どもの近くには本好きの大人がいる”と言われる。子どもに読書の大切さを教えることもさることながら、大人に対して読書の有用性や子どもの育ちへの寄与について

伝えることも難しい課題だ。何かご意見があればお聞かせ願う。

今野広元委員

16 ページに「ヤングアダルト世代に向けたサービスの充実」とある。“SNSを活用した広報”とは、具体的には何を考えているか。

事務局

公共施設で既にツイッターなど行っているところはある。仙台市では情報発信について一定の手続きが必要だが、検討を進めているところだ。現在進めている図書館システムの更新が落ち着いてからになるが、もう少し担当の職員自身が理解を深め研究する時間が必要だと考えている。

今野広元委員

中高生になるとスマートフォンを持っている人が半分以上になり、スマートフォンを通じて新しい情報を入手することが習慣になっている。個人情報取り扱いやデータ収集の仕方について個人情報保護法に従う必要があるが、スマートフォンを活用した情報発信は大変有効だ。

我が家には中学校を通じて、図書館発行のリーフレット「図書館にいこうよ！」が配付された。内容は素晴らしいが、字が細かいと子ども達は読まないで、表紙を魅力的にするなど第一印象で子どもたちの目を引くようなものがあるとよい。保護者向けのメッセージを書いてはどうか。このような発信はよい取り組みだが、内容を一考しては。

事務局

紹介する本について毎年更新を行っているところだ。

小林直之委員

小学生の子どもが、小学校から図書館のリーフレットをもらってきたが、「これを持って図書館に行けばシールをもらえる」と喜んでいて。リーフレットを読みながら、親子で“我が家にどの本があるか”“図書館に行ったらまずこれを読む”等話し合った。図書館は随分丁寧に取り組まれているのだと思った。

議長

委員の皆様から、このようなフィードバックはありがたい。

石田裕子委員

小学校の夏休みドリルの「夏特集チャレンジ」というページでは、1年生から4年生までは“仙台市図書館に行こう”、5年生と6年生は“宮城県図書館へ行こう”というテーマのため、ページに色を塗るために子ども達は必死で本を探す。夏休みの終わりになると、図書館から多くの本を借りている児童もおり、夏休みは読書推進のチャンスである。

また、小学2年生の“生活科”では図書館見学に行くことが多い。昨年まで在籍していた小学校では、泉図書館でバックヤードを見せてもらった。子どもたちは見学に行った日の次の休日には早速利用者カードを作ってくる。やはり、直に現場を見て、職員の方にお話を聞くというのは強い。どこの学校も図書館に行きたいと思っているが、学校の場所によっては交通費の問題で難しい場合もある。低学年で各区の図書館に行かせていただくことは、その後図書館に行きたいという意欲が増すのではないか。

事務局

小学校からは各館に来ていただいているが、特に書庫を見せると喜ばれるようだ。

石田裕子委員

図書館は学区外がほとんどなので、子ども達が保護者に頼んで連れて行ってもらう必要があるが、保護者自身に興味がないとそこで終わってしまい、子どもの行きたい気持ちが実現されない。<sup>うちどく</sup>家読にもかかわってるところだ。

事務局

図書館側からは、どのように学校に働きかければよいだろうか。

図書館ではガイダンス等で訪問したり、ブックトークを行ってはいるものの、学校現場のカリキュラムや距離感の問題もある。

石田裕子委員

市内全ての小学4年生を対象にブックトークに行かれているのは、本当に素晴らしい。次に図書館に誘い込むには、半ば強制的に学習の一環として行くことだろうか。

事務局

引き続き学校にも働きかけていきたい。

議長

学校の先生にとってブックトークは(読み聞かせに比べて)ハードルが高いように思うが、どの程度学校の先生方はできるのか。技能を持っている先生はいるか。

石田裕子委員

図書館主任であっても、出来る方は少ないのが現状。研究会で研修を重ねて出来るようになればよいのだが、そもそも教員対象の研修が少ない。夏休みの機会等に教員向けの講座を数多く開いていただければと考える。

事務局

学校の先生方は多忙なので、なるべく負担を少なくしていこうという動きもあり、悩ましい部分があるが、出来る限り連携を深めて行きたい。図書館で実践を積んだ行政教員の先生方のネットワークなどができるとよいのだが。

議長

宮城教育大学附属図書館報「こもれび」に、過去に研修講師を務めた先生がブックトークの考え方や方法をまとめた記事を書ってくれたのだが、大変人気がある。ブックトークの手法や名人の動画などがあると先生方も自学自習で技術を学べるのではないかと。専門の方がいるのであれば、そのような提供の仕方もある。

坂田邦子委員

SNSは基本的には自分が興味のあるものにしか登録やアクセスをしない「プル型」。図書に元々興味のあるヤングアダルトはフォローするかもしれないが、興味のない子は読まないし情報も得られない。我々も研究途上であるが、SNSを利用するにしてもプル型ではなくプッシュ型に、図書館に興味がない方に対して、何か別の興味と共にその情報が送られてくるような情報提供の仕方にしなければならない。例えば、市民図書館のアカウントを作るだけではなく、子ども達が興味を持ちそうな仙台市の情報の中に図書館のイベントや本の情報を入れていくような形だ。ただ単にツイッターで情報を流せばフォロー数が増えるものではない。図書館から配付されるリーフレットも同様に、彼らが何に関心を持っていて、どのようなものなら見てくれるのかを捉えるのが、ヤングアダルト向けの情報提供の仕方なのか

もしれない。

事務局

図書館単体というよりは、今のティーンエイジャーたちが読みたいものに、ぶらさがるイメージだろうか。こちらにも興味関心を持って見ていかないと分からない部分かもしれない。

議長

では、「方向性4 自らの変革を進める図書館」についてご意見を伺いたい。

**【方向性4 自らの変革を進める図書館】**

渡辺祥子委員

21ページの最後の「長期的視野に立った専門性と経営能力を備えた職員の養成」とあるが、経営能力というのはプロデュース能力という意味か。

事務局

図書館振興計画にも掲げているが、図書館を今後どのようにしていくか、私ども職員としても、一つひとつのサービスの実務を行うことと併せて、図書館をプロデュースし経営していくという視点に立った職員の育成が必要という趣旨である。

渡辺祥子委員

プロデューサーであり、コーディネーターでもあり、経営と言えらると思う。理解した。

議長

この点についてはよろしいか。全体を通してお気付きの点があれば、ご意見をいただきたい。

事務局

図書館の自己評価としては、一つひとつの施策としては各館の職員が手をかけて工夫しながら取り組めており、事業に参加し、図書館をご利用いただいた方々には満足いただけたと考えている。その一方で、図書館利用者層そのものを広げる取り組みが行き届かず、利用者数も毎年増減があり、横ばいあるいは全体的にやや減少という形である。全国的にも図書館の利用者数はそれほど伸びていない。その中で高齢者の利用が伸びているという特色が他都市の図書館でもあり、仙台市の図書館でも同様の傾向があると考えている。これまで行ってきたことについて、さらに受け手や読み手を広げていく取り組みがこれからの課題であると考えている。

議長

委員の皆様から意見はあるか。

どうしてもということがあれば、別途事務局にお伝えいただきたい。次回の協議会の前までに、取りまとめて公表したいと考えているので、まとめ方については、議長の私に一任いただきたい。

新迫宏委員

先ほど事務局の説明では図書館の利用者数が減少しているということだったが。

事務局

伸びてはいない状況である。

新迫宏委員

高齢者の利用は増えているが、全国的には利用者数が横ばいである旨を、1ページの利用状況の表に添えてはどうか。全国の傾向や仙台の現状などを踏まえて、これらの取り組みを

実施したことが理解しやすい。

議長

そのあたりも事務局に引き取らせていただいて検討したいと思う。他にはよろしいか。

委員

了解。

## 6 報告事項

### (1) 平成 29 年度仙台市図書館要覧について

市民図書館副館長より、資料 2 について説明。

### (2) 平成 29 年度の新しい取り組み状況について

市民図書館館長より、報告事項（読書通帳の配布、学校貸出図書配送サービスの開始、“3.11 震災文庫”からの発信）について説明。

泉図書館館長より、移動図書館の雨天時のサービスの充実について説明。

## 7 その他

### (1) 「とぶらすウイーク」「見る、さわる！古書の世界へご招待」「児童文学者 斉藤洋氏講演会」「郷土のかぜ 第 9 号」

市民図書館館長より、配付資料について説明。

### (2) 次回日程について

事務局

平成 29 年 11 月下旬を予定。日時・会場について、調整の上後日案内する。

議長

以上で議事を終了する。

## 8 閉会